

Toyota Municipal Museum of Art Press Release

豊田市美術館 プレスリリース

2020.8.11



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館



開館25周年記念コレクション展VISION DISTANCE いま見える景色

2020年10月17日[土]—12月13日[日]

休館日： 月曜日（11月23日は除く）

開館時間： 午前10:00-午後5:30（入場は午後5:00まで）

主催： 豊田市美術館

観覧料： 一般300円 [250円]、高校・大学生200円 [150円]、中学生以下無料

[]内は20名以上の団体料金。

障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、豊田市内在住又は在学の高校生及び豊田市内在住の75歳以上は無料（要証明）。

*その他、観覧料の減免対象者及び割引等についてはホームページをご確認いただくか、豊田市美術館へお問い合わせください。

*感染症拡大防止のため会期、関連事業の内容、来館者の受入態勢等を変更する場合があります。当館ホームページから最新情報をご確認ください。

開催趣旨

今年度、豊田市美術館では開館25周年を記念して「VISION」と題したコレクション展を
通年で催しています。今期は「DISTANCE いま見える景色」を共通タイトルとして、2つ
のテーマで所蔵作品の展示を全館で行います。すべての展示室を使って、当館コレクショ
ンの魅力を再発見する企画です。

前半部では「豊田市美術館25年のあゆみ-展覧会ポスターとコレクション」とテーマを設
け、当館が25年間にいった展覧会のポスターと所蔵作品を並べて、そのあゆみを振りか
えります。1995年の開館以来、当館は国内外の近現代美術、デザイン、工芸を対象に収
集活動を行ってきました。一作家複数作品の収蔵を旨として、国内作家が積みかさねてき
た仕事を辿りつつ、欧米の重要動向をまとめてコレクションすることで国内外のつながり
や対比を際立たせています。当館にとって展覧会は、そうした作品相互の連関や参照の
ネットワークを培う重要な機会でありました。今回の展示では、当館で開催された展覧会
のポスター約70枚を辿りつつ、グスタフ・クリムトやシュルレアリスムの作家たちにはじ
まり、ジュゼッペ・ペノーネ、奈良美智などの諸動向の核となる所蔵作品を並べることで、
当館が25年の間に探ってきた作品との出会い方を見つめなおします。

また、当館は開館以来、カギとなるテーマを介して作品を見比べることで、新たな視点を
探究してきました。今回、後半部となる展示では「距離のたのしみ-所蔵作品にみる遠近
の感覚」とテーマを設けました。昨今、感染症が流行するなかで距離が否応なく意識され
るようになっていきます。他者との距離はいうまでもなく、移動の制限や各種の「リモート」
など、私たちが経験したことがない距離感に戸惑うことも少なくありません。この展示で
は、所蔵作品に依りながら、遠くを思うことや、近くを見つめなおすこと、あるいは状況に
よって変化する遠近の感覚について探ろうとしています。見る者の遠近感を軽やかに反
転させる福田美蘭の絵画、距離を彫刻に持ち込んだアルベルト・ジャコメッティの胸像、
時空間をいかに把握するか問いつづけた若林奮の彫刻など、当館コレクションには距離
の感覚を呼びおこす作品が豊富です。さまざまな距離を連想させる作品に触れながら、
遠さや近さについてのびやかに思いを巡らせてみてください。

展示予定作品

約150点

主な展示作家

豊田市美術館25年のあゆみ—展覧会ポスターとコレクション(展示室5—8)

トニー・クラッグ、ジュゼッペ・ペノーネ、河原 温(かわら おん)、奈良美智(なら よしとも)、
グスタフ・クリムト、エゴン・シーレほか

距離のたのしみ—所蔵作品にみる遠近の感覚(展示室1—4)

若林 奮(わかばやし いさむ)、高松次郎(たかまつ じろう)、福田美蘭(ふくだ みらん)、
スタンリー・ブラウン、丸山直文(まるやま なおふみ)、山本丘人(やまもと きゅうじん)、
アルベルト・ジャコメッティほか

展覧会のみどころ

豊田市美術館25年のあゆみ—展覧会ポスターとコレクション(展示室5—8)

- コレクションから約90点を展示します。グスタフ・クリムトやエゴン・シーレら世紀末ウィーンの主要作家、ジュゼッペ・ペノーネをはじめとするアルテ・ポーヴェラの作家たち、奈良美智をはじめとする国内の気鋭作家などを展示予定。当館のコレクションの全体像をご覧いただけます。
- 過去の展覧会ポスター約70枚をあわせて展示します。これまでさまざまな角度から作品と鑑賞者の出会いを試みてきた当館の展示活動を通じ見られます。また当館にとって重要な意味をもつ、デザインという面からも25年間に作られたポスターの変遷をお楽しみください。

距離のたのしみ—所蔵作品にみる遠近の感覚(展示室1—4)

- 会場ではさまざまな「距離」に出会えます。若林奮やスタンリー・ブラウンのようにわたしたちの周りにある多様な「距離」を意識させる作家や、画中で遠くのどこかへの想像を掻き立てる丸山直文、近くのなにかへの注目を誘う福田美蘭などの作品を展示予定です。遠くを思ったり、身近さや微細さに目を向けたりしながら散策するようにお楽しみください。

関連事業

会期中ギャラリートーク等の開催を予定しています。

予定、日程等の詳細はホームページにてお知らせします。

お問合せ

豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

HP:<https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail:bijutsukan@city.toyota.aichi.jp

- 展覧会に関すること 学芸担当：石田、北谷(きたたに) Tel 0565-34-3131
- 掲載依頼・取材等に関すること 庶務担当：吉兼(よしかね)、籠谷(こもりや) Tel 0565-34-6748

「開館25周年記念コレクション展VISION | DISTANCE いま見える景色」
 広報用画像について



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館

画像等の資料をご希望の方は以下を記入のうえ、Faxかe-mailでお送りください。

送り先：豊田市美術館 庶務担当 吉兼(よしかね)、籠谷(こもりや)

Tel 0565-34-6748 Fax 0565-36-5103

e-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

お名前 _____ 様

ご所属 _____ Tel _____

Fax _____ e-mail _____

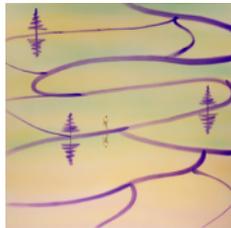
掲載紙／メディア名 _____ 発売、放送予定日 _____

必要な画像等の番号 _____ 必要な鑑賞券枚数(最大5組10名分) _____ 枚

*読者プレゼントのため等、希望する場合のみご記入ください



1



2



3



4



5



6



7



8

1. 若林奮《大風景(4th Stage)》1964,91年 2. 丸山直文《path 4》2005年 ©Naofumi Maruyama 3. 山本丘人《海の微風》1936年
 4. アルベルト・ジャコメッティ《ディエゴの胸像》1954年 5. トニー・クラッグ《スペクトラム》1979年
 6. グスタフ・クリムト《オイゲニア・プリマフェージュの肖像》1913/14年 7. エゴン・シーレ《カール・グリュンヴァルトの肖像》1917年
 以上すべて豊田市美術館蔵

8. 展覧会タイトルロゴ デザイン：芝野健太

資料の使用には以下の点にご注意ください。

- ・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮いただき、クレジットを表示してください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。

美術館使用欄 画像提供の依頼日 年 月 日 画像送付 校正 修正 配信・配本